第一回
親子で学ぼう「竹とんぼづくり」

日時：８月１９日(土)午前１０時開始
会場：鶴瀬公民館いきいき活動室
参加：３家族７名
指導：水子貝塚資料館館長・和田晋治さん
　　市民学芸員・田中聰行さん

夏休みのまぶしい日差しのなか、3 家族を迎えて、竹とんぼづくりが始まりました。
水子貝塚資料館の館長みずからのご指導で、とても簡単に楽しく作れました。
すでに竹とんぼの羽はほぼ完成形に削られおり、子どもたちは、紙ヤスリで表面を整え、
カラーペンで思い思いの模様を描きました。

竹串をさして、あっという間に出来上がり。
それでは、「ブンブンゴマ」をど～ぞと、木の枝を丸くスライスした直径５、６センチの円盤を渡されました。穴が２つ空いていますので、それにタコ糸を通すと、ブンブンゴマができました。じきにブンブン回して遊んでいました。なかには、「作るより回す方が難しい」という参加者もいました。
まだ、おまけがありました。ストローを軸にした竹とんぼも作りました。
鶴瀬コミュニティーセンター中庭には、まぶしい青空に、竹とんぼを飛ばして遊ぶご家族の歓声が響きました。

第二回
親子で学ぼう「縄文の森の観察」

和田晋治館長

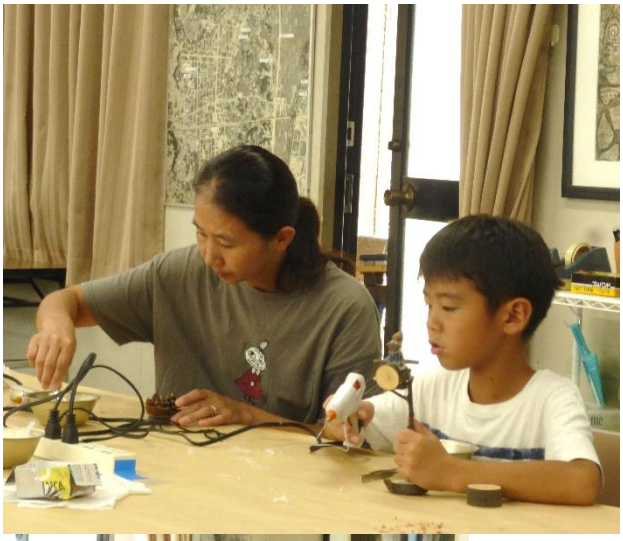
日時：８月１０日午前１０時集合
会場：水子貝塚資料館
参加：３家族（男子３・女子３・母親３・合計７名）
指導：　水子貝塚資料館館長・和田晋治さん

第２回は、現地（水子貝塚公園）集合の現地解散です。
今回の学習は、縄文の森の観察と「どんぐりクラフト」です。
それぞれ３０分から４０分の学習と工作です。第１回に続いて史料館の館長みずからの指導をうけることができました。１時間１０分くらいのものですが、じつに楽しくて内容の充実した学習でした。

水子貝塚公園には、６千年前の縄文遺跡がねむっています。公園として整備され、平成６年（１９９４）年に開園されてからすでに３０年近くになります。ドングリの実をつけるコナラ・シラカシ・アラカシ・クリ・クヌギ・マテバシイの多くは、すでに、１０数メートルをこえる大木に成長しています。それ以外にも、クスノキ・カヤノキ・ホオノキなども紹介してくれました。例年にない暑い夏ですが、この縄文の森には、ヒンヤリした緑の陰がやどっています。

ところが、和田館長のお話によると、２株ほどが**「カシノナガキクイムシ」**という外国産の害虫の被害にあっているようです。今年はカブトムシが都心でも異常繁殖しているようですが、こうした害虫がいることも勉強しました。

「どんぐりクラフト」は、資料館にもどって学習室で作業をしました。
　縄文の森から集めた、さまざまのドングリ・松かさ・枯れ枝を、ボンドで接着して、樹木、花、動物、建物など、それぞれ好みのモチーフを作りあげました。



報告　出井あや子　　瀬戸篤